

令和3年度 業務改善助成金 助成事例 (山口労働局)

整理番号	事業の種類	導入事例	生産性向上の効果		賃金引き上げ成果
			導入前	導入後	
1	農業	ハウス自動制御装置	ハウス内の環境制御(灌水、カーテンなど)を手動で行っており、遠く離れた場所まで行く必要があり、また、手作業の管理のため農作物の品質にもばらつきがあった。	ハウス自動制御装置の導入により、CO2、水、日光の管理を自動で行うことができ、農作物の品質が統一された。また、遠隔地まで行かず、スマートフォンで管理することができ、移動時間が短縮され労働能率が向上した。	農業用ハウス管理の効率化により生産性が向上し、13人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。
2	食料品製造業	プレハブ冷蔵庫(業務用冷蔵庫)	在庫保存用の冷蔵庫がなく、注文の都度小ロットずつ製造している。冷蔵保管ができないため、商品出荷まで余剰在庫を持つことができず、1日の処理能力に限られて効率が悪い。	プレハブ冷蔵庫の導入により、冷蔵保管ができることにより注文毎でなく、見込みで生産できるようになった。1日あたり最大5倍以上の生産能力が上がり、冷蔵保管ができることにより、急な注文にも即座に納品ができ、生産効率が上がった。	食料品製造の効率化により生産性が向上し、3人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。
3	食料品製造業	自動包装機	現在使用の包装機は日付刻印の切り替えを手作業(ピンセット)で行い、機械操作も難しく、サニタリー性も低かった。熟練オペレーターしか作業ができず、作業能率が低かった。	高性能な自動包装機を導入により、手作業で行っていた賞味期限などの日付変更を、タッチパネルで自動表示されるようになり、日付変更の手間が削減された。また、基本包装の能力も50個/分から60個/分と作業効率が向上した。	商品包装の効率化により生産性が向上し、10人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を90円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。
4	食料品製造業	ラベルプリンタ	食品ラベル作成、印刷は毎日行っている。ラベル作成は、パソコンにデータ入力をした後に、印刷機に移動し、印刷機にA4専用シートをセットし、またパソコンに戻り、印刷する手順を取っている。移動する時間、印刷機に専用紙をセットする時間がかかっていた。	ラベルプリンタの導入により、入力、印刷がその場で済み、移動する時間、作業時間の短縮ができた。他の作業をすることができるようになり、労働能率増進が図られた。	ラベル印刷の効率化により生産性が向上し、3人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。
5	飲食物品小売業(酒類販売)	フォークリフト	狭い敷地内では既存のフォークリフトでは作業が難しく、酒類の運搬に時間がかかっていた。	コンパクトなフォークリフトの導入により狭い敷地内における倉庫・トラック、店舗への運搬が自在になり、作業効率が向上した。朝、夕方の積み込み作業時間が1時間程度短縮した。	酒類運搬の効率化により生産性が向上し、4人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を45円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。
6	食料品製造業(菓子製造・小売)	ホームページの作成	商品の問い合わせへの電話対応、FAXによる受発注に、従業員の作業時間がとられていた。	ECサイトの導入により、サイトを直接閲覧してもらうことによりお客様が商品イメージを持ちやすくなり、今まで従業員が電話での商品説明していた時間が短縮した。お客様一人当たりにかかっていた電話対応時間が10分から3分へ短縮した。また、注文もサイトから行うことにより、注文や細かな要望の聞き間違いがなくなり、労働能率が向上した。	商品説明、注文の効率化により生産性が向上し、2人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を45円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。
7	宿泊業	お掃除ロボット	コロナ禍における、ホテル内の清掃時間は感染症予防対策として増えており、パブリック部分をスタッフが清掃する時間は180時間となっている。	新型コロナウイルス対応のお掃除ロボットを導入することにより、パブリック部分はすべてお掃除ロボットが全自動で行うので、スタッフが他の接客業務を行うことができ、労働能率が向上した。	ホテル内の清掃作業の効率化により生産性が向上し、17人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。

令和3年度 業務改善助成金 助成事例 (山口労働局)

整理番号	事業の種類	導入事例	生産性向上の効果		賃金引き上げ成果
			導入前	導入後	
8	飲食店	フライヤー	天ぷら用鍋で天ぷらを作っているが、一度に大量に作る事ができず、大人数のテイクアウト時は、先に作った天ぷらが冷め、品質を低下させていた。また、温度管理が難しく、ベテラン社員しか作業ができず、作業能率が低かった。	フライヤーの導入により、一度に大量の天ぷらを揚げることができ、また、温度を一定に保つ機能があることから、品質も安定が図れ、ベテラン社員以外でも作業が可能になり、作業能率が向上した。	揚げ物製造の効率化により生産性が向上し、1人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。
9	飲食店	ウォータークーラー	40席の客席に20個のビッチャー(水差し)を置いている。ビッチャーへの飲料水、氷の補充、洗浄に莫大の時間を費やし、接客の時間を作れないでいる。	ウォータークーラーを店内に2か所設置することにより、お客様自身が自由に飲水できるため、ビッチャーの交換作業がなくなり、作業時間が短縮した。短縮した労働時間を接客、食事提供、テーブル清掃に回すことができ、業務の効率化となった。	飲食業の効率化により生産性が向上し、3人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を45円引き上げた。
10	飲食店	タブレットオーダーシステム	従業員がオーダーを取り、厨房に伝え調理をしているが、厨房に伝えるまで時間がかかること、また、会計時に時間がかかり、従業員の負担が大きかった。	オーダーシステムの導入により会計時間が短縮され、回転率も上がり、待ち時間の短縮が図れている。会計時間が短縮されたことにより従業員の負担が軽減され、労働能率の向上に繋がっている。	飲食での業務効率化により生産性が向上し、8人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を60円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。
11	美容業(美容院)	ガス衣類乾燥機	美容院でタオルを1日90枚程度使用し、洗濯、乾燥をしている。乾燥は物干しによる天日干しであり、タオルを物干しにかけ作業に15分を要している。また、雨天、黄砂の日、コインランドリーに行き乾燥をしており、移動時間がかかっている。	ガス衣類乾燥機の導入により、タオル等を物干し竿にかけ作業、取り込む作業がなくなり、時間が15分程度短縮することができた。また、雨天時にコインランドリーに行く手間がなくなり労働能率が向上した。	美容院での作業の効率化により生産性が向上し、1人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を30円引き上げた。
12	社会保険・社会福祉・介護事業	スロープ付き福祉車両	障がい者福祉施設利用者において利用者の送迎を軽四の福祉車両で行っているが、乗車定員が運転手を除くと3名であり、送迎に2往復、2時間程度かかっていた。	8人乗り福祉車両の導入により、送迎は1往復1時間で済み、他の業務もできるようになり、労働能率が増進が図られた。	福祉施設利用者の送迎の効率化により生産性が向上し、11人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を20円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。
13	障害者福祉事業	障害者用トイレへの改造	同じフロアにトイレが1つしかなく、男性用として使用している。女性利用者は違うフロアへ移動しなくてはならず、移動の際、障がいをお持ちの方は付き添いが必要であり、同じフロアの移動に比べ介護職員の負担が大きくなっていった。	障害者福祉施設での障害者用トイレの導入により、他のフロアへの移動がなくなり付き添いの移動時間が一度につき5分程度削減できた。また、同じフロアへの移動ため付き添いが必要でなくなった利用者があり、職員が支援ルームから離れることがなくなり、支援の室の向上に繋がった。	障害者施設の改装により生産性が向上し、7人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を40円引き上げた。
14	その他のサービス業(ビル清掃業)	自動床洗浄機	現在1台自動床洗浄機を保有している。複数の清掃現場で床清掃の作業指定時間が重なった場合、一方は自動床洗浄機、もう一方は人力で作業となる。人力での作業の場合、多くの人数を配置する必要があり、作業時間も増加し、肉体労働負担も大きい。	自動床洗浄機の増設により、大型店舗での床洗浄時間が大幅に短縮した。また、複数の業務が重なった場合、配置人数を削減でき、作業時間も短縮できた。自動床洗浄機の導入により、3名2時間30分の現場を、2名2時間30分程度で作業を完了できた。削減できた人数を他の現場に回すことができ、生産性及び労働能率が向上した。	顧客管理の効率化により生産性が向上し、4人従業員の時間給(事業場内最低賃金)を45円引き上げた。また、事業場内最低賃金を上回る従業員の賃金の引上げも実施した。